

平成28年6月29日

台湾中央畜産会との定期情報交換会の概要について

独立行政法人農畜産業振興機構

このたび、独立行政法人農畜産業振興機構（ALIC）は、台湾中央畜産会（NAIF）と定期情報交換会議を開催しました。

本会議は、日本および台湾の畜産をめぐる情勢等について意見交換を行う場として、原則として毎年度交互に開催しており、今回で7回目となります。

1 日時：平成28年6月22日(水) 14時00分～17時30分

2 場所：台湾中央畜産会（台北）

3 出席者：

NAIF 王 政騰（董事長）、朱 慶誠（執行長）ほか

ALIC 宮坂 亘（理事長）、小林 博行（総括理事）ほか

4 主要議題と概要

宮坂理事長と王董事長の挨拶の後、NAIFから台湾における鶏卵の供給と牛肉の流通市場について説明。ALICからTPPによる農林水産物への影響と国産畜産物の競争力維持のための政府の政策について説明。これらについて、意見を交換。

(1) 「台湾における鶏卵の供給と市場における消費」及び「台湾における牛肉の流通市場」

- ・ NAIFから、鶏卵生産の概況、鶏卵の品質管理、トレーサビリティ制度などを説明。
- ・ ALICからは、常温ばら売りの卵のトレーサビリティの信頼性につ

いて見解を聴取。

- ・ N A I F から、牛肉の輸入の流れと表示の規程、台湾での需給状況や消費の形態について説明。
- ・ A L I C からは、牛肉加工品の原料原産地表示について見解を聴取。

(2) 「T P P による農林水産物への影響と国産畜産物の競争力維持のための政府の政策」

- ・ A L I C から、T P P 発効までの道のり、日本の主な畜産物輸入に関する合意内容、日本のT P P に関する対策について説明。
- ・ N A I F からは、これまでに各国と締結したF T A とT P P との関係、国内対策の財源措置等について関心が示された。

— お問い合わせ先 —
調査情報部国際調査グループ
担当者 露木・伊澤
電話 03-3583-4389
FAX 03-3584-1246